

尾道市新公立病院改革プラン（数値目標の達成状況）

1 経営の効率化に係る数値目標の達成状況

(1) 収益改善に係るもの

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 ① (プラン)	平成 29 年度 ② (実績)	対プラン増減 ②-①	達成度 (注)	評価・意見等
経常収支比率 (%)	100.8	100.2	99.0	△1.2	B	医師 2 名が確保できたことで、概ね目標が達成できている。持 続するためにも、引き続き、医師確保に努力してほしい。
医業収支比率 (%)	98.5	97.4	96.2	△1.2	B	

(注) A : 目標どおり達成 B : 概ね達成 (95%以上) C : 未達成 (95%未満)

《平成 29 年度結果》

医師 2 名を確保したことにより、入院においては患者数及び 1 件 1 日当りの単価が増加、外来においては患者数が増加し、前年度を上回る収益となった。一方で、患者数等の増加に伴う材料費の増加、給与改定及び医師・スタッフの増員等による給与費の増加、光熱水費や燃料費等の必要経費の増加によって医業費用が医業収益を上回り、「経常収支比率」及び「医業収支比率」は目標値を下回った。

(公立みつぎ総合病院)

(2) 経費削減に係るもの

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 ① (プラン)	平成 29 年度 ② (実績)	対プラン増減 ②-①	達成度 (注)	評価・意見等
職員給与費対医業 収益比率 (%) 病院のみ	68.0	67.4	70.3	2.9	B (104%)	医師 2 名が確保できたことで、増収となり、概ね目標が達成できている。プランにある取り組みに引き続き努力してほしい。また、持続するためにも、引き続き、医師確保に努力してほしい。
職員給与費対医業 収益比率 (%) 病院事業全体	69.0	69.8	70.9	1.1	B (102%)	
材料費対医業収益 比率 (%)	10.9	11.3	11.2	△0.1	A	
減価償却費対医業 収益比率 (%)	5.1	4.9	4.9	0.0	A	
院内照明器具 LED 化による削減 (千円)		5,000	533	△4,467	C	

(注) A : 目標どおり達成 B : 概ね達成 (95%以上) C : 未達成 (95%未満)

《平成 29 年度結果》

職員給与費対医業収益比率は、給与改定及び医師・スタッフの増員等により、病院のみ・病院事業全体ともに目標値を下回った。材料費対医業収益比率は、入院単価等の増加による医業収益の増加に伴い材料費も増加したが、目標どおりであった。減価償却費対医業収益比率は目標どおりであった。院内照明器具 LED 化による削減については削減効果は得られているものの、改修工事完了が 1 月末となったことにより未達成となった。

(公立みつぎ総合病院)

(3) 収入確保に係るもの

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 ① (プラン)	平成 29 年度 ② (実績)	対プラン増減 ②-①	達成度 (注)	評価・意見等
入院延患者数 (人)	75,512	78,110	76,223	△1,887	B	医師 2 名が増えたことで、達成度が A、B の指標が多くなっている。持続するためにも、引き続き、医師の確保に努力してほしい。
入院一日当り患者数 (人)	206.9	214.0	208.8	△5.2	B	
外来延患者数 (人)	142,386	143,916	144,131	215	A	
外来一日当り患者数 (人)	533.3	537.0	537.8	0.8	A	
病床利用率 (%)	86.2	89.2	87.0	△2.2	B	
平均在院日数 (日)	19.0	21.0 日以内	19.9	△1.1	A	
看護職員夜間 16 対 1 配置 加算 2	12 月～ 加算有	加算有	加算有	加算有	A	
医師事務作業補助体制加 算 40 対 1	12 月～ 加算有	加算有	加算有	加算有	A	
特別な療養環境の見直し (千円)	11,615	9,600	13,076	3,476	A	

(注) A : 目標どおり達成 B : 概ね達成 (95%以上) C : 未達成 (95%未満)

《平成 29 年度結果》

医師の確保により、「入院延患者数」、「入院一日当り患者数」は概ね達成となり、「外来延患者数」、「外来一日当り患者数」は目標達成となった。「病床利用率」については目標値を下回ったが概ね達成となった。「平均在院日数」は目標達成となった。「看護職員夜間 16 対 1 配置加算 2」、「医師事務作業補助体制加算 40 対 1」、「特別な療養環境の見直し」は目標達成となった。

(公立みつぎ総合病院)

(4) 経営の安定性に係るもの

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 ① (プラン)	平成 29 年度 ② (実績)	対プラン増減 ②-①	達成度 (注)	評価・意見等
企業債償還利息対医業収 益比率 (%)	0.6	0.6	0.6	0.0	A	プランにある取り組みに引き続き努力してほしい。
企業債残高 (百万円)	1,607	1,760	1,789	29	B	
減価償却費 (百万円)	305	300	296	△4	A	

(注) A : 目標どおり達成 B : 概ね達成 (95%以上) C : 未達成 (95%未満)

《平成 29 年度結果》

「企業債償還利息対医業収益比率」、「企業債残高」、「減価償却費」はほぼ目標どおりであった。

(公立みつぎ総合病院)

2 医療機能等指標に係る数値目標

(1) 医療機能・医療品質に係るもの

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 ① (プラン)	平成 29 年度 ② (実績)	対プラン増減 ②-①	達成度 (注)	評価・意見等
紹介延患者数 (人)	2,692	2,690	2,753	63	A	医師 2 名が増えたことで、達成度が A、B の指標が多くなっている。持続するためにも、引き続き、医師の確保に努力してほしい。 新陳代謝のために、医師以外の看護師や他の職員の交流や人事異動など流動性を図り、活性化するといったことも行っていただきたい。
救急延患者数 (人)	2,483	2,460	2,384	△76	B	
透析延患者数 (人)	7,281	7,558	7,720	162	A	
リハビリテーションセンター病床利用率 (%) (定員 19 床)	84.6	89.5	90.0	0.5	A	
みつぎの苑入所利用率 (%) (定員 150 人)	97.3	97.3	97.8	0.5	A	
みつぎの苑通所リハビリテーション延利用者数 (人)	9,595	9,855	8,771	△1,084	C (89.0%)	
特養ふれあい利用率 (%) (定員 100 人)	97.8	98.0	97.1	△0.9	B	
ケアハウス利用率 (%) (定員 30 人)	89.1	93.3	91.9	△1.4	B	
グループホーム利用率 (%) (定員 18 人)	98.8	99.4	99.9	0.5	A	
デイサービスセンター延利用者数 (人)	4,501	4,378	4,432	54	A	
訪問看護ステーション「みつぎ」延訪問回数 (回)	9,256	9,139	9,241	102	A	
ホームヘルプステーション延訪問回数 (回)	10,191	9,510	9,952	442	A	
介護予防センター延利用者数 (人)	2,190	2,270	2,597	327	A	

(注) A：目標どおり達成 B：概ね達成 (95%以上) C：未達成 (95%未満)

《平成 29 年度結果》

「紹介延患者数」、「透析延患者数」、「リハビリテーションセンター病床利用率」、「みつぎの苑入所利用率」、「グループホーム利用率」、「デイサービスセンター延利用者数」、「訪問看護ステーション「みつぎ」延訪問回数」、「ホームヘルプステーション延訪問回数」、「介護予防センター延利用者数」は目標達成となった。「救急延患者数」、「特養ふれあい利用率」、「ケアハウス利用率」は概ね達成となった。「みつぎの苑通所リハビリテーション延利用者数」は利用者の入院や入所により未達成となった。